

十王・豊浦・日高支所管内 学校基本情報

(十王町全域、川尻町、折笠町、砂沢町、小木津町、日高町、かみあい町、田尻町、相田町)

1 児童生徒数

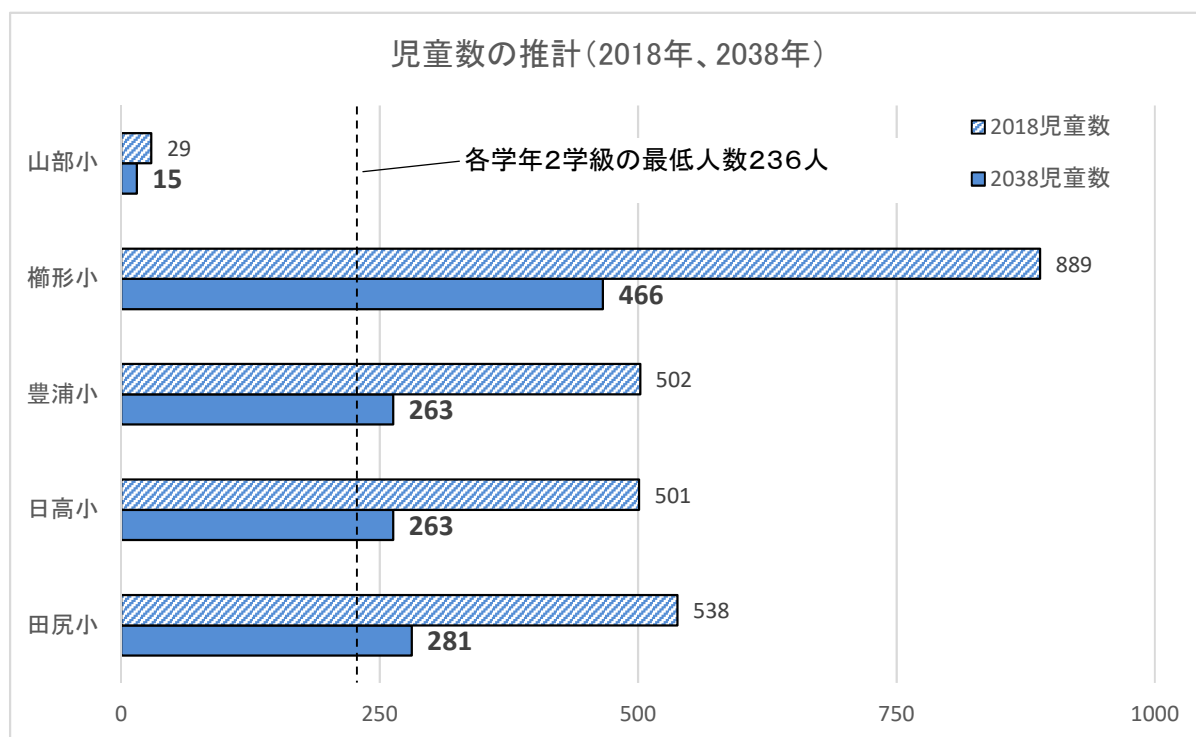
(1) 小学校児童数

ア 平成30年5月1日現在 (単位: 人)

		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	特支級	計
山部小	児童数	2	9	1	6	4	7		29
	学級数	1	1		1		1		4
櫛形小	児童数	123	117	161	141	141	151	55	889
	学級数	4	4	5	4	4	5		26
豊浦小	児童数	86	72	84	84	74	78	24	502
	学級数	3	3	3	3	2	2		16
日高小	児童数	79	63	81	72	83	96	27	501
	学級数	3	2	3	2	3	3		16
田尻小	児童数	73	73	86	82	98	84	42	538
	学級数	3	3	3	3	3	3		18
計	児童数								2,459

イ 20年後推計 (単位: 人)

山部小	児童数	15	日高小	児童数	263
	学級数	3		学級数	12
櫛形小	児童数	466	田尻小	児童数	281
	学級数	14		学級数	12
豊浦小	児童数	263	計	児童数	1,288
	学級数	12			



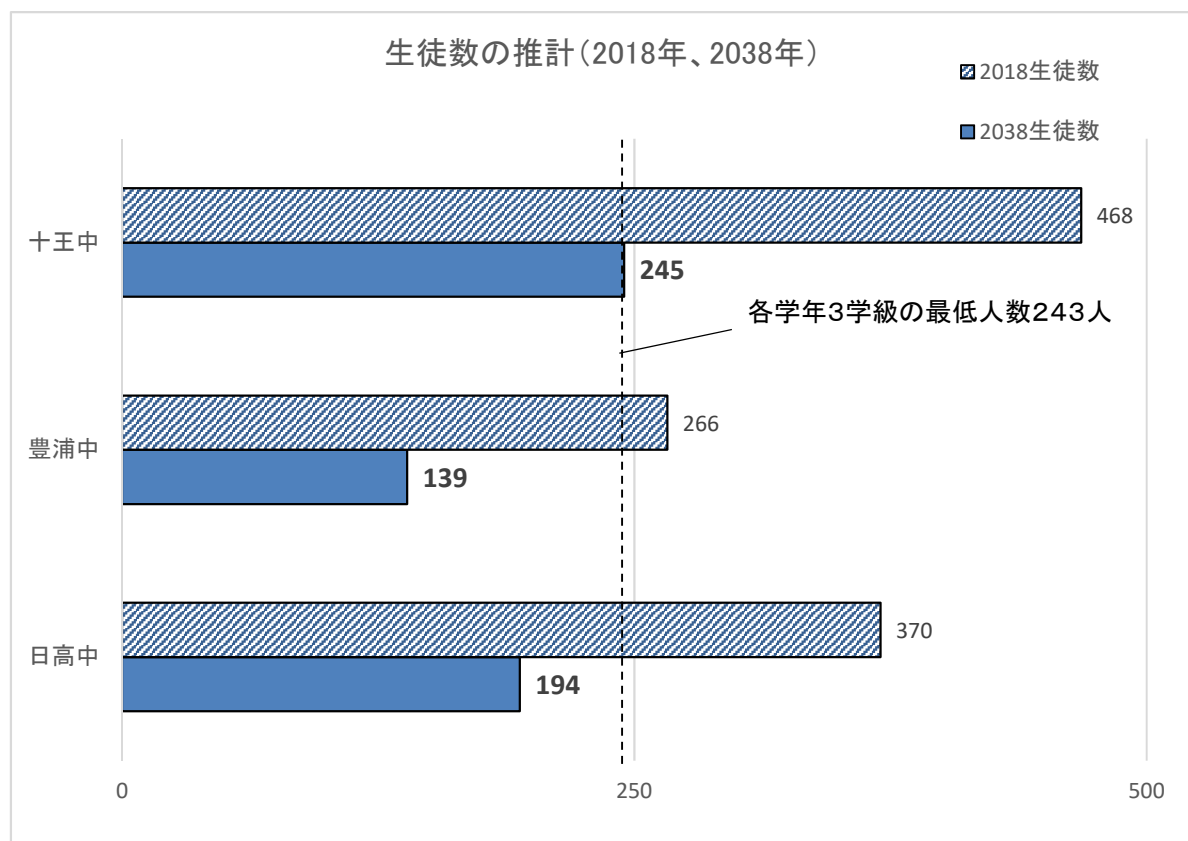
(2) 中学校生徒数

ア 平成30年5月1日現在（単位：人）

		1 学年	2 学年	3 学年	特支級	計
十王中	生徒数	149	160	145	14	468
	学級数	5	5	5		15
豊浦中	生徒数	80	85	95	6	266
	学級数	2	3	3		8
日高中	生徒数	113	111	126	20	370
	学級数	4	4	4		12
計	生徒数					1,104

イ 20年後推計（単位：人）

十王中	生徒数	245
	学級数	9
豊浦中	生徒数	139
	学級数	6
日高中	生徒数	194
	学級数	6
計	生徒数	578



2 通学

(1) 学区内の最長距離（単位：km）

	道のり	地点
山部小	1.5	A
櫛形小	3.5	B
豊浦小	2.5	C
日高小	2.7	D
田尻小	2.0	E

(2) 自転車通学

平成30年度	人数	要件
十王中	95	通学距離が2 km以上の者
豊浦中	19	通学距離が2 km以上の者
日高中	0	許可していない

(3) 危険エリア

ア 津波ハザードマップ

イ 洪水ハザードマップ

ウ 土砂災害ハザードマップ

3 その他

(1) 小中学校の組み合わせ

	小学校
十王中	山部小 櫛形小
豊浦中	豊浦小
日高中	日高小 田尻小

※ 田尻小は、日高中・滑川中に分かれて進学

(2) 部活動（平成30年度）

	学級数	野球	サッカー	男子バスケ	女子バスケ	男子バレー	女子バレー	男子テニス	女子テニス	陸上部	男子卓球
十王中	15	○ 24	○ 44	○ 29	○ 17	○ 15	○ 23	○ 37	○ 34		○ 35
豊浦中	8	○ 19	○ 32		○ 14		○ 12	○ 36	○ 34		○ 21
日高中	12	● 16	○ 40	○ 24	○ 15	○ 16	○ 28	○ 34	○ 28		○ 31
	学級数	女子卓球	男子柔道	女子柔道	男子剣道	女子剣道	吹奏楽	美術	パソコン	校外活動	
十王中	15	○ 18	○ 15	○ 5	○ 11	○ 12	○ 65	○ 49	○ 33		17部 466人
豊浦中	8	○ 25	○ 2	○ 1	○ 12	○ 10	○ 20	○ 9	○ 7	○ 10	16部 264人
日高中	12	○ 35	○ 13	○ 8	○ 9	○ 4	○ 35	○ 26	○ 8		17部 370人

上段：設置の有無（○は単独、●は3年生の引退後、新人戦での他校との合同チーム）

下段：部員数（3年生を含む）（単位：人）

(3) 学校の校舎と敷地

（単位：㎡）

	建築年月	校舎	体育館	敷地	左のうち 運動場
山部小	S32.1 S55.3	1,406	590	9,017	4,850
櫛形小	S50.3 S51.7 S56.3	5,839	739	21,042	9,675
豊浦小	H31.12竣工予定	1,691	754	40,542	12,619
日高小	H33.2竣工予定	6,004	791	19,570	8,046
田尻小	S51.10 S51.11 S52.11 S59.2	7,168	790	33,349	13,710
十王中	S46.2 S57.3 S60.2 H6.12	5,051	925	31,887	13,611
豊浦中	S54.2 S60.3	3,848	1,332	48,060	30,943
日高中	H23.12	6,631	1,425	24,961	12,354

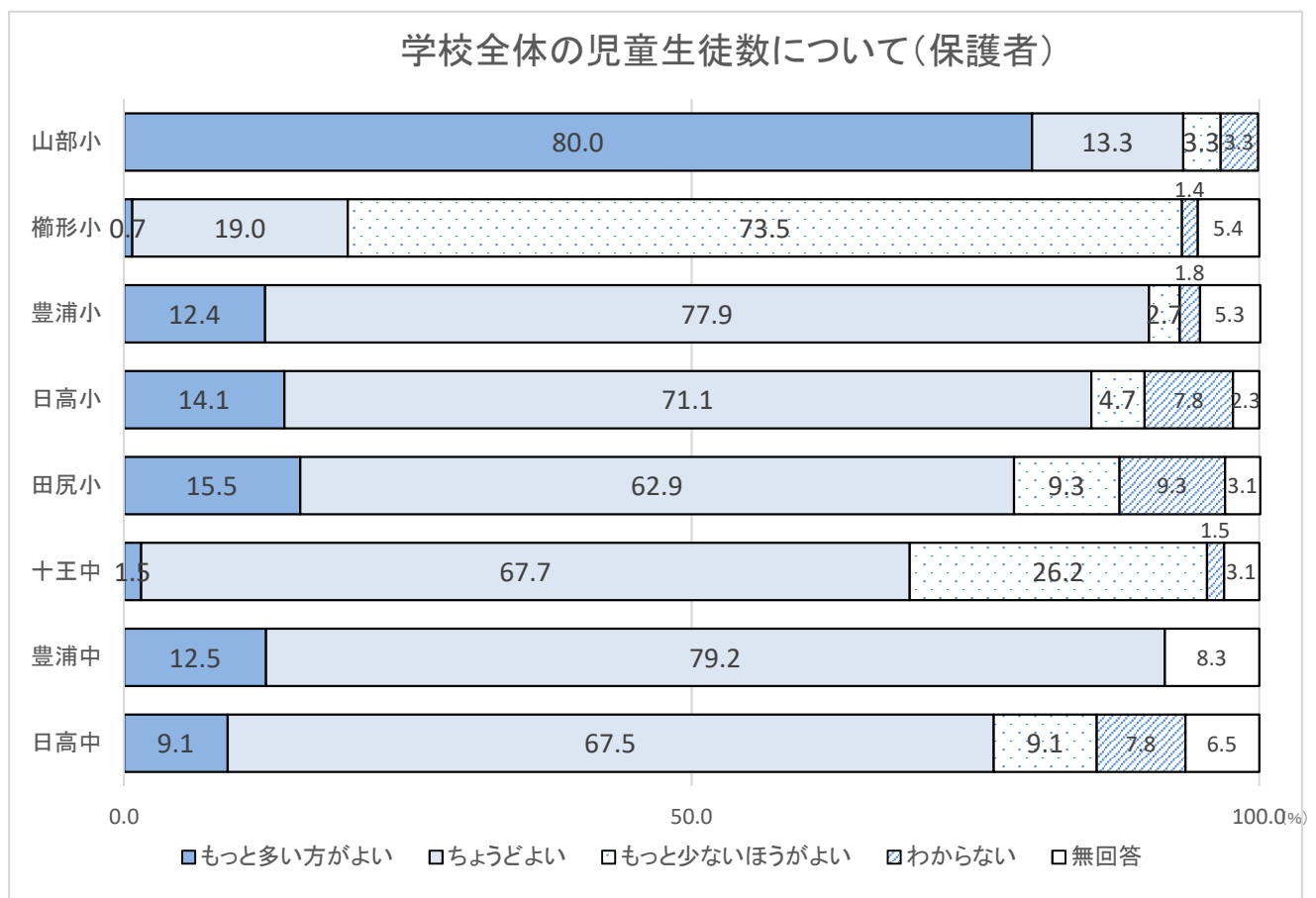
(4) 未就学児の居住状況(単位：人)

年齢	入学 年度	小学校区				
		山部小	橿形小	豊浦小	日高小	田尻小
0	36	4	77	50	58	85
1	35	6	89	53	63	73
2	34	6	91	65	72	71
3	33	3	112	80	79	65
4	32	5	127	72	78	72
5	31	2	118	81	70	72
2024(H36) 計	児童数	26	614	401	420	438
	学級数	4	21	13	12	14
H30年度比		△10%	△31%	△20%	△16%	△19%

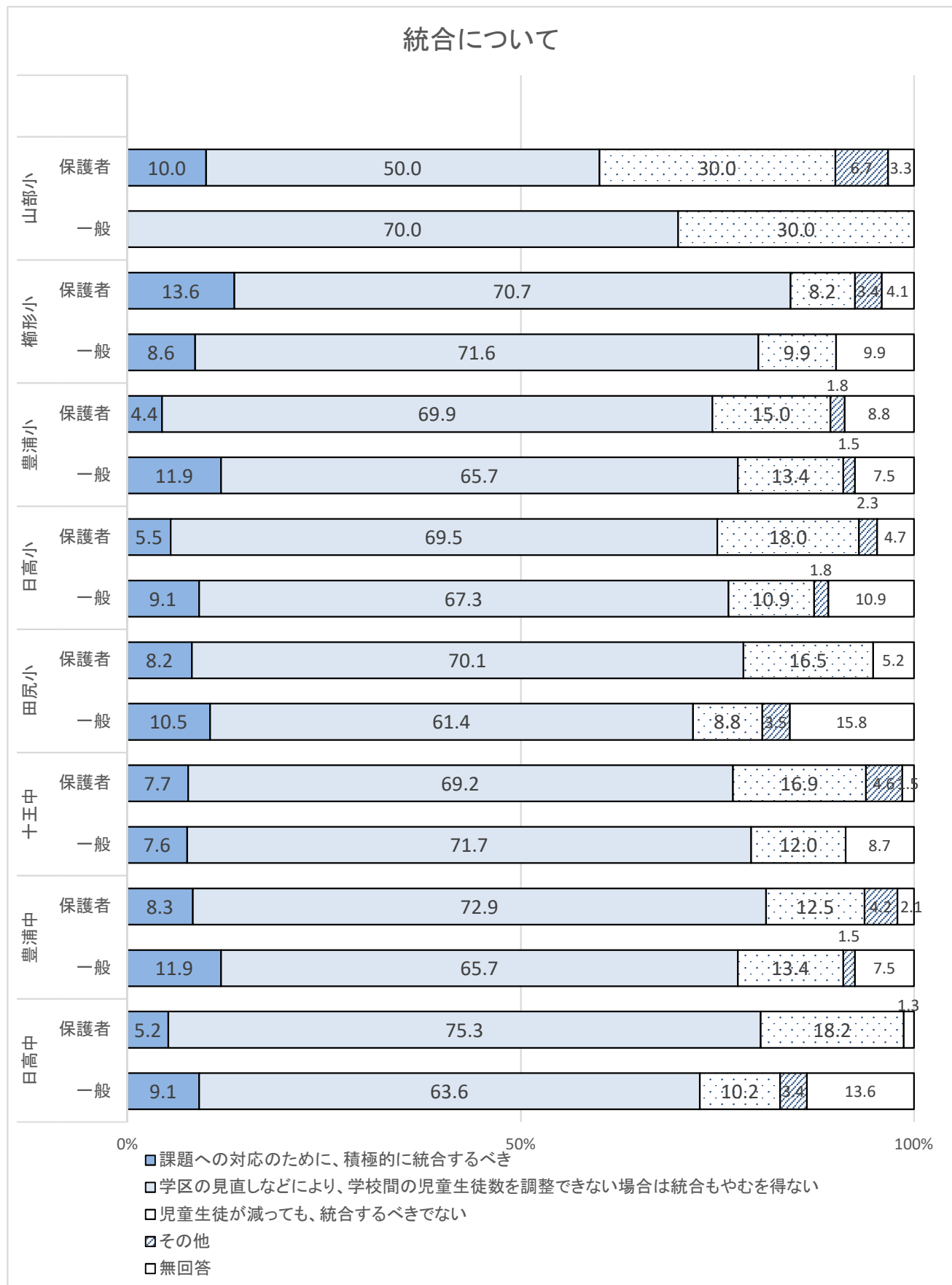
(5) 地域の意見

ア アンケートの結果

問 あなたの世帯のお子さんが通学している学校の児童生徒数については、どのように感じていますか。



問 小中学校の小規模化への対応として、子どもたちの学習環境を整えるため学校の統合を進めている自治体があります。このような対応についてどのように考えますか。



イ 保護者懇談会での意見

①再編について

- ・ これほど子どもが減っていってしまうと学校の再編は仕方ないと思うが、教育の質は上げてほしい。（橿形小学区）
- ・ 伊師浜の子どもたちは十王中より豊浦中が近い。学区を見直してもいいのではないか。（山部小学区）
- ・ 1小学校1中学校では友達が増えない。中学校は複数の小学校から集まる方が、部活なども増えて活躍の場が広がるし、社会性を育てるためにも人数は多い方がよい。十王中が中央に建てられれば行きやすい。どちらかに寄せるのは遠い。駅前に土地があれば。（豊浦小学区）
- ・ 再編は、一気にではなく、いろいろな方法を試しながら取り組んでほしい。（日高小学区）
- ・ 小中一貫という話も聞くが、9年間同じ仲間と一緒にいることになるので、トラブルがあったときに逃げ場がない。中学に上がったときに新しい出会いがあることがよい。（学区不明）
- ・ ほかの自治体でも再編していることや統廃合してどうだったかなどの情報も知らせてほしい。統合のメリットを教えてほしい。実際は、通学が遠くなるだけでプラスイメージがない。（滑川小学区）

②通学について

- ・ 山部小に誘っても、送迎が負担と言われてしまうので、スクールバスを出してほしい。中学校は人数が多い方がよいので、十王中との合併はよいと思う。（山部小学区）
- ・ 統廃合も仕方ないが、通学上の安全をよく考えて進めてほしい。（橿形小学区）
- ・ 以前住んでいたところは、自転車の乗り方テストを受けて合格すれば自転車通学ができた。徒歩と自転車を選べた。部活動で帰りが遅くなれば迎えに行くが、自転車なら迎えに行かなくてよい。（豊浦小学区）
- ・ 統合してバス通学になっても20～30分程度がよい。（日高小学区）
- ・ 統合によって通学距離が延びる。2.5kmで疲れている子どもがいるのに4kmはとても歩けない。スクールバスでは運動量が減る。（日高小学区）

③スケジュールについて

- ・ 再編は致し方ないと思う。再編が決まったら、どのタイミングでアナウンスするのか。（学区不明）

④その他

- ・ 学年1学級の先生は不安を持っていると思う。相談相手がいらない。ベテランとペアを組んでやれるといい。（橿形小学区）
- ・ 山部小に通わせたいが、どちらにするかと言ったら橿形小を選ぶ。理由は、友人関係と少人数であることのデメリット。大きすぎる橿形小は避けたい気持ちもある。（橿形小学区）
- ・ 知り合いの教員から、1学級20人前後で指導しやすいが、単学級なので相談できる人がいないから大変だと聞いた。できれば80人以上の3学級がよいと思う。（田尻小学区）
- ・ 人数が少なくなると、PTA活動や立哨当番が負担。特に立哨は、自分の子どもが通らない場所に立たなければならないし、頻度も多い。（学区不明）

ウ 地域懇談会での意見

①再編について

- ・ 学校を通して地域がつながっている。他の学校に統合されると地域の連携、存続ができない。地域のこと、生活のことと考えてほしい。（山部小学区）
- ・ 豊浦小はコミュニティ・スクールに取り組んでいるが、統廃合によって地域の方が参加しにくくならないようにしてほしい。小中学校と地域の方との良い関係が築いていけるようにしてほしい。（豊浦小学区）
- ・ 小さい学校ではきめ細かい指導もできるし地域とのつながりも濃い。しかし、複式の欠点もある。複式の授業の難しさ、ハンディがある。”子どもため”を考えれば、現在の状況では、いろいろな子どもと関わりながら成長していくことはできない。その点が義務教育では一番大切なこと。残念だが限界だ。（山部小学区）
- ・ 何が一番問題かというところクラス替えということ。これから子どもが少なくなっていくのに、2学級や3学級が基準というのはおかしい。他の市町村はどうなっているのか。（山部小学区）
- ・ クラス替えが利点とされているが、必ずしも利点とは限らない。子どもの状態によって、わざわざ小規模校を選択する人もいる。全てを2学級以上にすることには、あまりメリットはないと思う。（日高小学校区）

②通学について

- ・ 通学距離の想定はどのくらいか。そこから外れる子どもたちをどう考えるか。以前なら30分で歩けた距離に45分かかる。冬場の下校時には薄暗くなってしまう。いくら教育の質を上げても、途中で事故があっては問題だ。（日高小学区）
- ・ 通学距離が遠くなると、児童クラブへの迎えに時間通りに行けない。共働き家庭にとっては負担になる。児童の場所が学校から交流センターに移れば家から近くなる。（日高小学区）
- ・ スクールバスを出してまで通学させることが子どものためになるのか。山部小学区から橿形小までは、人の通らない、家もないところを通わなくてはならない。（山部小学区）

③その他

- ・ コミュニティの活動に関わっている人は、子どもの頃からのつながりで活動している人が多い。準備期間を十分とらないと新しいつながりができない。教育の質だけでは、市民全体の賛同は得られないと思う。（日高小学区）
- ・ 小さい学校から中学校へ行って、人数の多いところで、どうやって友達作りをしたらいいか、子どもが戸惑ってしまったという話を聞いた。小学校のうちから交流する機会を作れないか。（山部小学区）

4 基本方針から見た北部各支所管内の学校数

(1) 小学校（最低必要数 236人） 2～5校

1,288人/ 236人 \div 5.5校

1,288人/ 5校 \div 258人 258人/ 6学年 \div 43人（各学年2学級 1学級22人）

1,288人/ 4校 \div 322人 322人/ 6学年 \div 54人（各学年2学級 1学級27人）

1,288人/ 3校 \div 429人 429人/ 6学年 \div 72人（各学年2学級 1学級36人）

1,288人/ 2校 \div 644人 644人/ 6学年 \div 107人（各学年3学級 1学級36人）

(2) 中学校（最低必要数 243人） 1～2校

1,288人/ 2 \div 644人（小学生の半数）

644人/ 243人 \div 2.7校

644人/ 3校 \div 215人 215人/ 3学年 \div 72人（各学年2学級 1学級36人）

644人/ 2校 \div 322人 322人/ 3学年 \div 107人（各学年3学級 1学級36人）

644人/ 3学年 \div 215人（各学年7学級 1学級31人）

【補足】

20年後の小学生の半分为中学生の人数として試算しましたが、検討委員会において中学生の20年後の推計値(P2)を使用したほうがよいとの指摘がありました。

中学生の20年後の推計値を使用した試算は、以下のとおりです。

578人/243人 \div 2.4校

578人/2校 \div 289人 289人/ 3学年 \div 96人（各学年3学級 1学級32人）

578人/ 3学年 \div 193人（各学年6学級 1学級32人）

(3) 学級編制（平成30年度 茨城県）

ア 小学校

（単位：人）

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計
1学級の上限	35	35	40	40	40	40	
学年2学級 の必要数	36	36	41	41	41	41	236

イ 中学校

（単位：人）

	1学年	2学年	3学年	計
1学級の上限	40	40	40	
学年3学級 の必要数	81	81	81	243